



プロの歌声に感動

6月10日、普代小学校体育館で村内の4つの小学校の児童187人を対象に「青少年劇場、混声四重唱・マーシャル727 “のびやかな和声、うつくしいひびき”」と題した演奏会が行われました（写真）。

「となりのトトロ」や「もののけ姫」など宮崎駿アニメーションメドレーが始まると、児童らは食い入るように聴き入っていました。

青少年劇場は、子どもたちに豊かな文化芸術をと(財)日本青少年文化センターが県や市町村教育委員会と共催し毎年開催しています。



子どもの目線大切

築こう明るい社会

久慈地区保護司会（柏木睦夫会長）は7月1日、社会を明るくする運動強化月間のスタートに合わせ村役場を訪れ、法務大臣のメッセージを伝達しました。

同会のメンバー10人と役場職員が集まる中、普代中学生徒会の大上勇君（3年）、須田千尋さん（同）、中田李帆さん（同）の三人が一日保護司に委嘱され、代表で大上君が榎屋伸夫助役に法務大臣の伝文を読み上げました（写真）。

同運動は、地域活動の推進による少年の非行防止と更正の援助を重点目標に、更生保護の日の7月1日から1カ月間全国一斉に行われます。



村教育委員会主催の第一回子育て講座は六月二十五日、自然休養管理センターで開かれ、約三十人のお母さん方が参加しました。

講座は久慈市教育委員会の適応指導教室あすなろ塾に勤務する阿部謙治さんを講師に、約一時間半「親の接し方」と題して講話を行いました（写真）。

阿部さんは「子育ては大人の目線で、指示、命令をしては駄目。子どもの言葉や仕草に気を付けてください」と日常生活の中で、子どもの目線に立つて言葉を掛け、接することの大切さを訴えました。